

**Space Aviation、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE」の購入に向け基本合意書（LOI）の締結
～2028年の商用化を見据え、次世代の空のインフラ構築を目指す～**

Space Aviation株式会社（読み：スペースアビエーション、本社：京都府京都市、代表取締役社長：保田 晃宏、以下「当社」）は、「空飛ぶクルマ」（※1）の開発・製造・販売を行う株式会社SkyDrive（本社：愛知県豊田市、代表取締役CEO 福澤知浩、以下「SkyDrive」）と、空飛ぶクルマ「SKYDRIVE（SkyDrive式SD-05型）」の機体購入に向けた基本合意書（LOI）を締結したことをお知らせいたします。これにより、1機の購入および具体的な価格・納品スケジュールの基本条件合意に至りました。

**■ 背景**

当社は、「空の移動革命」を通じた社会課題の解決を目指し、日本全国に50機のヘリコプターやジェットを配備し、旅客輸送や遊覧飛行において国内トップクラスの運航サービスを提供しています。単なる移動手段の提供に留まらず、交通不便な地域へのアクセス改善による地域経済の活性化や、災害時における緊急支援基地としての役割など、防災インフラの構築を多角的に推進してきました。

これまで培ってきた航空運用の豊富な知見を、より環境に優しく静粛性の高い移動手段である「空飛ぶクルマ」へと展開するため、この度、2025年の大阪・関西万博でのデモフライト実施など実績を積み重ねているSkyDriveの機体導入を決定いたしました。SkyDriveが掲げる「100年に一度のモビリティ革命を牽引する」というミッションに共感し、この導入を機に、次世代モビリティを活用した新たな移動サービスの構築を加速させてまいります。

今回の締結により、当社は、2028年を目途に自社が持つ独自のネットワークを活用した新たな空の移動サービスの提供を開始する予定です。あわせて、同社が本社をおく京都のヘリポートについても、将来的なバーティポート化を視野に入れ、空飛ぶクルマを活用した遊覧サービスや京都市内における新たな移動サービスの展開可能性を検討してまいります。これにより、観光地間の移動時間の短縮や、地域内移動の利便性向上、さらには災害時における緊急輸送路の確保など、多角的なシーンで「空の移動」を日常化させ、地域社会の活性化に貢献してまいります。

【本プレスリリースに関する報道関係者問い合わせ】

Space Aviation 株式会社 松山 ([050-5472-8483](tel:050-5472-8483)、info@space-a.co.jp)



■ 代表取締役社長コメント



当社 代表取締役社長 保田 晃宏

当社はこれまで、ヘリコプターを通じて「移動を自由に、時間を価値あるものに」変えてまいりました。SkyDrive 社の eVTOL は、まさに私たちが求めていた「静かで環境に優しく、都市部でも使いやすい」次世代の移動インフラです。将来的には関空ー京都便のサービス展開や全国の場外離着陸場への利用拡大を目指すことで、ヘリコプターと空飛ぶクルマが共存する、より豊かで便利な社会を実現してまいります。



株式会社 SkyDrive 代表取締役 CEO 福澤 知浩氏

この度、日本全国でヘリコプター遊覧飛行や、空港や都市部から観光地、ホテル、ゴルフ場などへのスカイタクシー事業を展開されている Space Aviation 様と、新たに「SKYDRIVE (SkyDrive 式 SD-05 型)」の機体購入に向けて基本合意に至ったことを嬉しく思います。Space Aviation 様が培ってこられた豊富な航空サービスの知見やネットワークと、SkyDrive の空飛ぶクルマを掛け合わせることで、空飛ぶクルマの社会実装を強力に推進し、日本における空の移動革命はより確かなものになると確信しています。2028 年のサービス開始に向け、共に、空を、もっと身近に感じられる社会の実現を加速させてまいります。

■ 株式会社 SkyDrive について

「100 年に一度のモビリティ革命を牽引する」をミッションに、2018 年 7 月に設立。愛知県豊田市を主拠点到に「空飛ぶクルマ」を開発し、静岡県磐田市のスズキグループの工場では製造を開始しています。官民協議会の構成員として制度設計にも関与、2020 年に日本初の公開有人飛行試験に成功、2025 年には大阪・関西万博にてデモフライトを実施しました。2028 年のサービス開始を目指し、機体開発に努めています。

URL: <https://skydrive.co.jp/>

※1 空飛ぶクルマとは：電動化、自動化といった航空技術や垂直離着陸などの運航形態によって実現される、利用しやすく持続可能な次世代の空の移動手段です。諸外国では、Advanced Air Mobility (AAM) や Urban Air Mobility (UAM) と呼ばれています。

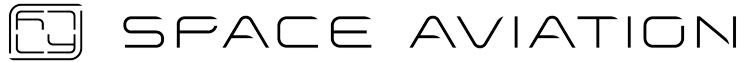
引用元：国土交通省（令和 8 年 3 月付）<https://www.mlit.go.jp/koku/content/001994084.pdf>

■ Space Aviation 株式会社について

京都に本社を置く、ヘリコプター運航会社。「空を、もっと身近に。もっと自由に。」を掲げ、旅客輸送、遊覧飛行、機体管理、パイロット派遣まで網羅する包括的な航空サービスを提供しています。現在、北海道から沖縄まで全国 9 拠点、場外離発着場 800 箇所を結ぶ広範なネットワークを強みに、国内トップクラスの飛行実

【本プレスリリースに関する報道関係者問い合わせ】

Space Aviation 株式会社 松山 ([050-5472-8483](tel:050-5472-8483)、info@space-a.co.jp)



績を誇ります。既存の航空利便性を最大化するとともに、空の移動革命を通じた社会課題の解決を目指しています。

■ 会社概要

会社：Space Aviation 株式会社

本社：京都府京都市伏見区向島柳島 1

代表：保田 晃宏

設立：2019 年 5 月 7 日

資本金等：12 億 8,948 万円（資本準備金を含む。2025 年 10 月時点）

事業内容：航空事業、旅行業、グループの経営管理等

URL：<https://space-aviation.com/>

【本プレスリリースに関する報道関係者問い合わせ】

Space Aviation 株式会社 松山 ([050-5472-8483](tel:050-5472-8483)、info@space-a.co.jp)